

人口減少に伴う消滅可能性都市 について

四 竈 英 夫



【質問】日本創成会議が公表した2040年の人口推計によれば、急激な人口減少により、本市は消滅可能性都市に分類された。全国的な人口減少の現実をどのようにとらえ、将来の展望をどのように描いているのか。

【答弁】【市長】今回の公表を深く受けとめ、消滅可能性都市にならないようにしなければならぬという思いを強くした。本市は平成32年度を目標年次とした第五次総合計画の中で、人口減少と少子高齢化社会を取り上げ、市民がともに支え合いながら生き残る力を育み、ふるさと白石に誇りを持つて、まちづくりを進めることとしていく。

【有害鳥獣対策について】
【質問】猿、熊、イノシ

シ、ハクビシンなどの被害が増え、農家の苦労は増すばかりで、特にイノシシの被害が深刻である。捕獲したイノシシの処理についても苦勞している。埋設する場所が限られ、人手もかかる。埋設場所の確保と掘削用の重機の貸し出しを行うなど、農家の負担軽減を図れないのか。

【答弁】【市長】捕獲した鳥獣の処理については、鳥獣被害対策実施隊員の方々と話し合いのうえで費用なども決定している。その中で埋設の処理までお願いしているのが今の白石市の方法である。

【児童生徒の水の事故防止その他安全指導について】

【質問】河川の増水や気温の急激な上昇により、児童生徒の水の事故が懸念されるが、夏休みを前にどのような指導が行われているのか。

【答弁】【教育長】夏休みに向けて、各学校管内の危険箇所の調査、川やため池の全調査、夏休み中の巡回を校長会でお願いしている。

【質問】交通事故防止や携帯サイトによるトラブルの防止、事件、事故への注意喚起は行われているのか。

【答弁】【教育長】交通事故防止は、各学校で交通指導教室を開き、事故防止の指導を受けている。PSCパトロール隊員、学区内の見守り隊の活動にも感謝している。携帯サイトの問題は、携帯を持たせるかどうかは、最終的には保護者の判断になるので、夏休み前の学年PTA等においてお願いしている。



PSCパトロール隊とは

学校・警察・企業が連携し、地域の安全・安心な環境づくりを目指す、市内の中学生たちが活動しているボランティア団体です。

2016年NHK大河ドラマ「真田丸」と本市の観光施策について

山 田 裕 一



【質問】1987年の大河ドラマ「独眼竜政宗」は、NHK大河ドラマの中で、「赤穂浪士」「武田信玄」に続き過去3番目の47.8%という高視聴率を獲得した大河ドラマとなった。「独眼竜政宗」放映時には、多くの観光客が本市を訪れたと聞いている。来年は、片倉小十郎景綱公没後400年、そして再来年のNHK大河ドラマ「真田丸」と本市を全国にPRできる絶好の機会と考えるが、市長の思いをお聞きたい。

【答弁】【市長】来年度が片倉小十郎景綱公没後400年、真田幸村公没後400年となる。この「真田丸」が決定する前に、市民バスをもう一台、

デジタルコンテンツの新しいゲームの片倉小十郎公と真田幸村公と一緒にラッピングしたい旨の依頼をカブコンに申請していただくこと、許可が出たため8月頃にはお目見えできると考えている。さらに、大坂夏の陣から400年にもなるので、今年の第7回鬼小十郎まつりにおいてもしつかりとPRしていきたい。

【質問】例えば、大坂夏の陣・道明寺の戦いを再現している鬼小十郎まつりに、「真田丸」脚本家の三谷幸喜さんや主演の堺雅人さんを特別ゲストとして招待できれば、脚本の中に片倉小十郎が入ってくる可能性も考えられるのでぜひ、関係各所に働きかけを考えていただきたい。

【答弁】【市長】来ていただけるか分からないが、今年には市制施行60周年の記念事業として、鬼小十郎まつりのDVDを作成するため、そのDVDをお送りするなど、白石市をアピールをしていきたい。

【質問】白石駅前には「小十郎プラザ」があるが、白石蔵王駅には、白石市の土産を販売するコーナーがほとんどない状況である。例えば、白石蔵王駅構内にある「温麺の館」を活用して、当市のPRや観光を発信するスペース、また一部をリニューアルし、売店にするなどの活用が考えられるが、市長の所見を伺いたい。

【答弁】【市長】温麺の館の活用については、現在、展示スペースを整理し、新たに片倉家と真田家の歴史的な関係を紹介できないかと、観光協会やJRと検討している。